BUFFALO 35010257 ver.02 2-01 C10-012

LinkStation™ ネットワーク対応ハードディスク ～簡単接続ガイド～

はじめにお読みください

最初のセットアップ
LinkStationをセットアップする方へ（1台目のパソコン）

WindowsVista/XP/2000、Windows Server2003をお使いの方へ
本紙おもて面に記載の手順1～9にしたがってセットアップしてください。

MacOSX10.3.9以降をお使いの方へ
手順5～9はWindows環境での手順です。Mac OS X 10.3.9以降をお使いの方は、ユーティリティCD内の［LinkNavigator］アイコンをダブルクリックし、LinkNavigatorの表示にしたがってセットアップしてください（「NAS Navigator2」は、必ずインストールしてください）。

2台目以降のパソコン
2台目以降のパソコンで使用する方へ
※セットアップ完了後に、セットアップしたパソコンとは別のパソコンでLinkStationを使用するための手順を説明しています。

WindowsVista/XP/2000、Windows Server2003をお使いの方へ
本紙うら面「2台目以降のパソコンで使用する方へ」にしたがって、LinkStationをネットワークドライブとして割り当ててお使いください。

MacOS10.3.9以降をお使いの方へ
付属のユーティリティCDに収録されている「LinkStation設定ガイド」-「LinkStationをネットワークドライブに割り当てたい」を参照してください。

1 パッケージの内容を確認します。

確認した項目には✓を付けてください。

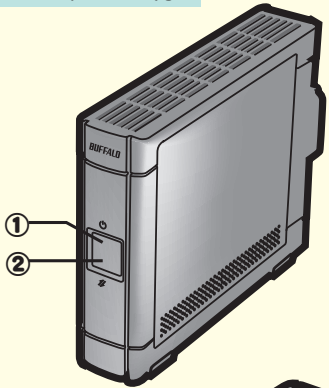
万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

- □ LinkStation本体.. 1台
- □ LANケーブル（ストレート/2m）........................... 1本
- □ ユーティリティCD（ハイブリッドCD-ROM）............... 1枚
  - ※次のものが収録されています。
    - ・NAS Navigator2（LinkStationの検索・表示・設定/Windows&Mac OS 10.3.9以降）
    - ・簡単バックアップ（パソコンのデータをバックアップ/Windows）
    - ・ファイル共有セキュリティレベル変更ツール（Windows Vista、Windows Server2003）
    - ・LinkStation設定ガイド（Windows&Mac OS）
    - ・Adobe Reader（PDFファイル閲覧ソフトウェア/Windows）
- □ DLNA対応機器で使用するには.............................. 1枚
- ☑ はじめにお読みください（本紙）........................... 1枚

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

2 本製品を縦置きの向きに設置します。

電源／LANケーブルは **まだ** 接続しないでください。

各部の名称

①電源ランプ
電源ON：緑色に点灯
電源OFF：消灯
起動中/終了中：緑色に点滅
DirectCopy機能準備完了：青色に点灯（約60秒）
DirectCopy機能使用中：青色に点滅

②ステータスランプ
Link 時に緑色点灯、アクセス時に緑色点滅します。
橙色、赤色に点灯したときは、「LinkStation 設定ガイド」をご参照ください。電源が OFF の時や LAN ケーブル未接続の時は消灯しています。

③ファンクションスイッチ
DirectCopy 機能（USB コネクタに接続した記憶装置に含まれるメディアファイルを LinkStation にコピーする機能）を使用する際に押します。詳しくは、「LinkStation の設定ガイド」をご参照ください。

LinkStation の初期化
次の手順で LinkStation を初期化することができます。
1. LinkStation の電源スイッチを OFF にします。
2. ファンクションスイッチを押したまま電源スイッチを ON にします。電源ランプが青色に点滅します（1分間）。
3. 電源ランプが青色に点滅している間に、もう一度ファンクションスイッチを押します。初期化が開始されます。

LinkStation に接続した USB 機器の取り外し
LinkStation の電源が ON の状態でも、ファンクションスイッチを 3 秒以上長押しし、電源ランプが青色に点灯させ、消灯したら USB 機器を安全に取り外すことができます。

④ファン
ファンを塞ぐような設置はしないでください。

⑤電源スイッチ
POWER MODE AUTO ON OFF
AUTO：PC 連動電源機能を有効にします。
電源 ON：電源を ON にします。
電源 OFF（出荷時設定）：電源を OFF にします。

⑥USB コネクタ（USB2.0/1.1シリーズA）
弊社製USB接続外付けハードディスクやUSBフラッシュ、デジタルカメラ、対応UPSをLinkStationに増設できます。
※USBハブやリムーバブル機器の接続には対応しておりません。

⑦LANポート　LANケーブルを接続します。

⑧盗難防止用ワイヤーホール
市販のワイヤーなどで固定することができます。

⑧アースグラウンド
市販のアース線を別途購入し、接地してください。

メモ　PC連動電源機能について

LinkStationの電源は、「PC連動電源機能」によって本製品付属のNAS Navigator2をインストールしたパソコン本体の電源ON/OFFに合わせて、自動的にON/OFFすることもできます。

AUTO：
NAS Navigator2がインストールされたパソコンが全て電源OFFになると自動的にLinkStationの電源がOFFになります（パソコンの状態を監視する微弱な電力は消費しています）。ネットワークでLinkStationに接続されたパソコンが1台でも電源スイッチがONになると、自動的にLinkStationの電源がONになります。

ON：
本製品の電源をONにします。パソコンの電源には連動しません。

OFF（出荷時設定）：
本製品の電源をOFFにします。パソコンの電源には連動しません。

※「AUTO」でお使いの場合、お使いの環境によっては、正常に認識しないことやパソコンの電源に連動しないことがあります。このようなときは、「ON」にしてお使いください。
※パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品の電源ランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
※LinkStation をはじめて使用するときは、電源スイッチを「ON」にしてください。初回セットアップ後、「AUTO」にすることでパソコンの電源に連動することができるようになります。
※製品起動直後、電源スイッチ操作直後は、パソコンの電源状態を確認するため 5 分程度 LinkStation の電源が OFF になりません。
※LinkStation のメディアサーバ機能または Web アクセス機能を使用する場合、電源スイッチを「ON」にしてお使いください。

- **LinkStation のセットアップは、電源スイッチを「ON」にしてください。「AUTO」に変更してセットアップすると、セットアップ中に LinkStation の電源が OFF になってしまうことがあります。**
- **NAS Navigator2 をインストールしていないパソコン、および LinkStation と同一ネットワークに接続していないパソコンの電源には連動しません。**

3 パソコン本体の電源スイッチをONにし、パソコンを起動します。

※DHCPサーバが存在している環境では、本製品を接続して電源スイッチをONにするだけで使用することができます（必ず電源スイッチをONにするより先に接続してください）。
但しこの場合、日時設定、ワークグループ設定、ネットワークドライブ割り当て等が設定されておりません。これらを自動設定する手順4以降を行うことをおすすめします。

メモ
ウィルス対策ソフトやOSのファイアウォール機能が有効に設定されている場合、本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。

4 付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。

LinkNavigatorが起動します。

※画面の色数は［High Color（16ビット）］以上に設定しておいてください。256色以下では、LinkNavigatorの画面が正しく表示されません。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、［LSNavi.exeの実行］をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックしてください。

5 セットアップを実行します。

［かんたんスタート］をクリックします。

※この画面が表示されないときは？
ユーティリティCD内に収録されている アイコン（LSNavi.exe）をダブルクリックしてください。

6 セットアップを実行します。

［LinkStationのセットアップ］をクリックします。

7 セットアップのながれをお読みください。

［次へ］をクリックします。

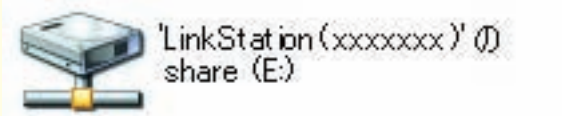
以降は画面の指示にしたがって、LinkStationの取り付け、設定をしてください。

※LinkNavigatorで自動設定された内容は、デスクトップにテキストファイルとして保存されます。

8 「設定完了です」と表示されたら、［次へ］をクリックします。

9 ［マイコンピュータ（またはコンピュータ）］の中に、ネットワークドライブアイコンが追加されています。

ネットワーク ドライブ

'LinkStation (xxxxxxx)' の share (E:)

※画面はWindows XPの例です。

以上でセットアップは完了です。
ネットワークドライブとして追加されたLinkStationは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてお使いください。

DLNA対応機器でLinkStationをメディアサーバとして使用する方は、続いて別紙「DLNA対応機器で使用するには」を参照して設定してください。

仕様

最新の情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）をご参照ください。

●LANポート
規格：1000BASE-T：IEEE802.3ab準拠
　　　100BASE-TX：IEEE802.3u準拠
　　　10BASE-T：IEEE802.3準拠
転送速度：1000Mbps全二重（自動認識）
　　　　　100Mbps全二重/半二重（自動認識）
　　　　　10Mbps全二重/半二重（自動認識）
コネクタ：RJ-45型8極コネクタ
アクセス方式：CSMA/CD方式

※LinkStationはLAN接続タイプのハードディスクです。パソコンのUSBコネクタに接続して使用することはできません。

●対応プロトコル
TCP/IP、AppleTalk

●対応ネットワークファイルシステム
SMB/CIFS、AFP、FTP

●平均消費電力
約17W（LinkStationのUSBコネクタ未使用時）

●フォーマット
出荷時にフォーマット済み

●動作環境
温度：5～35℃　湿度：20～80%（結露なきこと）

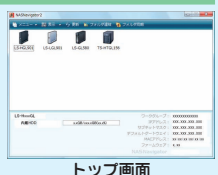
●USB2.0/1.1コネクタ（シリーズA）搭載
対応USB機器（USBハブの接続には対応しておりません。）
- ・弊社製USB接続ハードディスク
  ※LinkStationに接続して使用できるハードディスクは1台までです。ただし、バスパワーで電源を供給するタイプのハードディスクには対応していません。必ずACアダプタ等をハードディスクに取り付けてお使いください。
  ※DUB/DIUシリーズは非対応です。
  ※第1パーティション（領域）のみ認識されます。第2パーティション以降は認識できません。
  ※LinkStationにHD-DU2シリーズを接続して使用すると、HD-DU2シリーズのダイレクトコピー機能を使用できません。ダイレクトコピー機能を使用したいときは、HD-DU2シリーズをパソコンに接続し、HD-DU2シリーズ付属のDiskFormatterでフォーマットしてください。
- ・APC社製/オムロン社製USB接続UPS
  ※対応UPS製品名は弊社ホームページ（buffalo.jp）に記載されています。UPSを購入前にあらかじめご確認ください。
- ・USBフラッシュ、デジタルカメラ、カードリーダ（2個以上のメモリカードを認識できるカードリーダを除く）
- ・USB接続プリンタ（LinkStationはプリントサーバ機能を搭載しています。）
  ※プリンタの接続は1台までです。また、双方向通信には対応しておりません（インク残量などプリンタのステータスは取得できません）。
  ※複合機能搭載プリンタを接続した場合、プリンタ機能のみ使用できます。その他の機能（スキャナ、カードリーダー、FAXなど）を使用することはできません。
  ※双方向通信のみ対応のプリンタ、WPS（Windows Printing System）プリンタは使用できません。
  ※Mac OSでは本製品にプリンタを接続して使用することはできません。

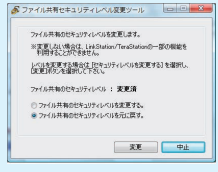
●Jumbo Frameフレーム長
1,518/4,102/7,422/9,694 Bytes（ヘッダ14Bytes+FCS 4Bytes含む）

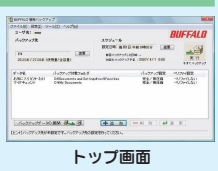
ソフトウェアのご紹介

付属のユーティリティCD（LinkNavigator）では、次のソフトウェアやマニュアルをインストールすることができます。
セットアップ中に表示される選択画面でソフトウェアを選んでインストールします（LinkNavigatorの［オプション］をクリックし、画面の指示にしたがってインストールすることもできます）。

［BUFFALO NAS Navigator2］
LinkStationの設定画面の表示や、ネットワークからLinkStationを検索するためにNAS Navigator2が必要です。
LinkNavigatorの［かんたんスタート］をクリックしてセットアップすると、必ずインストールされます。
※PC連動電源機能を使用するときは、LinkStationと同じネットワークに接続しているパソコン全てにNAS Navigator2をインストールする必要があります。

トップ画面

［ファイル共有セキュリティレベル変更ツール］
LinkStationの設定画面で「認証サーバ連携機能を利用したアクセス制限」を設定するときは、Windows Vista、Windows Server2003のセキュリティを変更する必要があります。［スタート］-［BUFFALO］-［ファイル共有セキュリティレベル変更ツール］-［ファイル共有セキュリティレベル変更ツール］で「ファイル共有のセキュリティレベルを変更する」を選択すると変更することができます（元に戻すときは、「元に戻す」を選択します）。
※Windows Vista、Windows Server2003のみインストールされます。
※初期セットアップ中、「セキュリティレベルを変更します。よろしいですか？」と表示されます。［はい］をクリックしたときは、画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。

トップ画面

［簡単バックアップ］
パソコンのデータをLinkStationにバックアップしたいときに便利なユーティリティです。使いかたについてはセットアップ後に、［（すべての）プログラム］-［BUFFALO］-［簡単バックアップ］-［簡単バックアップ マニュアル］をご参照ください。
※LinkStationのデータをバックアップしたいときは、LinkStationの設定画面で行います。

トップ画面

［LinkStation設定ガイド（LinkStationマニュアル）］
LinkStation 設定ガイド（HTML形式）を読むためのショートカットアイコンをデスクトップにコピーします。本製品の制限事項や設定手順が記載されています。

［Adobe Reader］
マニュアルには一部PDFファイルが含まれています。PDFファイルを読むにはパソコンにAdobe Readerがインストールしてある必要があります。Adobe Readerがない環境をお使いの場合にインストールしてください。使いかたについてはAdobe Readerのヘルプを参照してください。

※インストールしたソフトウェアを削除するには、LinkNavigatorの［オプション］-［ソフトウェアの削除］をクリックしてください。以降は画面のメッセージにしたがって操作します。

セットアップできないときは

LinkNavigatorでセットアップできないとき、セットアップしてもLinkStationが使用できないときは、付属のユーティリティCDに収録されている「LinkStation設定ガイド」の「困ったときは」をお読みください。
代表的な現象と原因を以下に記載します。

現象：初期設定中に、「LinkStationが見つかりませんでした」「接続可能なLinkStationはありません」「設定を完了できません」と表示される。

原因1.LANケーブルが接続されていない
電源ケーブルとLANケーブルを接続し直し、再度LinkStationの電源を入れなおしてください。

原因2.ファイアウォール機能が有効となっている、常駐ソフトがインストールされている
ファイアウォール機能を無効にする、またはファイアウォール機能が有効となっているソフトをアンインストールして再度検索をお試しください。

原因3.無線、有線アダプタがそれぞれ有効になっている
LinkStationに接続するためのLANアダプタ以外を無効にしてください。

原因4.LANケーブルの不良、または接続が不安定になっている
接続するハブのポートやLANケーブルを変更してお使いください。

原因5.お使いのLANボード/カード/アダプタが故障している
LANボード/カード/アダプタを変更してお使いください。

原因6.お使いのLANボードやハブの伝送モードが設定されていない
LANボードやハブ側で伝送モードを［10M半二重］または［100M半二重］に変更してください。
LANボードやハブによっては、伝送モードが［Auto Negotiation］（自動認識）に設定されていると、ネットワークに正しく接続できないことがあります。

原因7.ネットワークブリッジが存在する
使用していないネットワークブリッジが構成されている場合は、削除してください。

原因8.異なるネットワークから検索を行っている
ネットワークセグメントを超えて検索を行うことはできません。検索するパソコンと同一のセグメントにLinkStationを接続してください。

原因9.TCP/IPが正しく動作していない
LANアダプタのドライバを再インストールしてください。

原因10.セットアップが2回目以降である（すでに一度セットアップを行っている）。
LiinkStationを初期化してから本紙手順4以降を行ってください。初期化につきましては手順2の「LinkStationの初期化」をご参照ください。

画面で見るマニュアルの読み方「LinkStation 設定ガイド」

ユーティリティCDをパソコンにセットし、自動的に起動した画面（LinkNavigator）で、［マニュアルを読む］をクリックしてください。LinkStation設定ガイド（HTML形式）が表示されます。
LinkStaion設定ガイドには、「困ったときは」「ネットワークドライブ割り当て手順」「FTPサーバ機能設定方法」「アクセス制限設定方法」「フォーマット」「パスワードの変更」などが記載されています。

クリック
LinkNavigatorトップ画面

※LinkStaton設定ガイドはInternet Explorer6以降、またはFirefox1.5以降でご覧ください。バージョンが古いと正常に表示できません。古いときは最新のバージョンにアップデートしてください。

2台目以降のパソコンで使用する方へ

2台目以降のパソコンで使用するには、付属のユーティリティCDをパソコンにセットし、次の手順でネットワークドライブとして割り当て、ファイルの保存先としてお使い下さい。

［パソコンのセットアップ］をクリック

［コンピュータ（またはマイコンピュータ）］の中に共有フォルダが割り当てられています。
※画面はWindows XPの例です。

※ネットワークドライブのアイコンが追加されない（LinkStationが認識されない）ときは、付属のユーティリティCDに収録されている「LinkStation設定ガイド」-「困ったときは」をご参照ください。

※上記に記載の手順はWindowsのものです。Mac OSをお使いの場合や、shareフォルダ以外の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てたい方は、付属のユーティリティCDに収録されている「LinkStation設定ガイド」-「LinkStationをネットワークドライブに割り当てたい」をご参照ください。

※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、［LSNavi.exeの実行］をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックしてください。

LinkStationの内蔵ハードディスク内「INFO」フォルダの中には、ユーティリティCDに収録されているマニュアルやNAS Navigator2、簡単バックアップのインストールプログラムが収録されています。ネットワーク内のパソコンでマニュアルを読みたいとき、ユーティリティを使いたいときにインストールしてお使いください。

［INFO］フォルダ
- ［manual］フォルダ - index.html....... LinkStation設定ガイド（HTML形式）を読むことができます。
  ユーティリティCDに収録されているマニュアルより新しい（記述を変更している）ことがあります。あらかじめご了承ください。
- ［NasNavi2］フォルダ - Inst.exe......... NAS Navigator2をインストールできます。使い方についてはLinkStation設定ガイド（HTML形式）を参照してください。
- ［HdBackup］フォルダ - Inst.exe......... 簡単バックアップをインストールできます。使い方については簡単バックアップの使いかた（PDFファイル）を参照してください。
  - Hdbackup.pdf .. 簡単バックアップの使いかた（PDFファイル）が書かれています。PDFファイルを見るにはAdobeReaderがインストールしてある必要があります。
- ［lmcmchg］フォルダ - Inst.exe......... ファイル共有セキュリティレベル変更ツールをインストールできます。使い方についてはLinkStation設定ガイド（HTML形式）を参照してください。

LinkStationのフォルダが突然開かなくなってしまったときは

お使いのネットワーク環境によっては、IPアドレスが変更されたり、ワークグループが変更されたときなど、突然LinkStationにアクセスできなくなってしまうことがあります。このようなときは、次の手順で共有フォルダを開いてください。

1 ［スタート］-［（すべての）プログラム］-［BUFFALO］-［BUFFALO NAS Navigator］-［BUFFALO NAS Navigator2］をクリックします。

NAS Navigator2が起動します。

※Mac OSでは、デスクトップの［NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックしてください。

2 LinkStationのアイコンをダブルクリックします。
LinkStationの共有フォルダ（shareフォルダを含む）が開きます。

※Mac OSでは、デスクトップ画面にLinkStationがドライブアイコンとしてマウントされるか、Finderのサイドバーに表示されます。
※上記に記載の手順はWindowsのものです。Mac OSをお使いの方や、shareフォルダ以外の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てたい方は、付属のユーティリティCDに収録されているLinkStation設定ガイド（HTML形式）をご参照ください。
※Mac OSで上記の方法を試しても改善しないときは、LinkStationの設定画面で、［ディスク管理］-［ディスクチェック］-［Mac OSの固有情報を削除］を選択しディスクチェックを実行してください。

ここに記載された手順でもフォルダを開けないときは、物理的に接続されていない、正常にLinkStationが認識されていない可能性があります。LANケーブルを接続しなおし、パソコンおよびLinkStationを再起動してください。

パソコンやLinkStationのデータをバックアップするには

パソコンのデータをLinkStationにバックアップしたい

LinkStationのデータを他のLinkStation、増設したUSB接続ハードディスクにバックアップしたい

LinkStationの設定画面で行います。

※バックアップ手順は付属のユーティリティCDに収録されているLinkStation設定ガイド（HTML形式）を参照ください。
※LinkStation/TeraStation専用フォーマット（EXT3形式、XFS形式）でフォーマットしたUSB接続ハードディスクを直接パソコンに接続しても読み出すことはできません。
※USBハードディスクがFAT32形式でフォーマットされている場合、1ファイル4GB以上（FAT16形式の場合、1ファイル2GB以上）のデータはバックアップできません。

LinkStationにハードディスクやプリンタを接続するには

LinkStationの背面には、USB2.0/1.1コネクタ（シリーズA）を搭載しています。USBコネクタにはハードディスクやプリンタを接続して使うことができます。
接続・設定手順は付属のユーティリティCDに収録されているLinkStation設定ガイド（HTML形式）をお読みください。
対応ハードディスク、プリンタについては、おもて面「 仕様 」欄記載の対応USB機器をご参照ください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制 本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止 本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止 AC100V（50／60Hz）以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止 電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。
- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制 電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする危険があります。

強制 小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制 濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く 煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止 風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く 本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止 電源ケーブル（またはACアダプタ）、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用含む）、ACアダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火のおそれがあります。

強制 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は､本製品を破損､またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。万一、 お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
詳しくは、http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

LinkStationのデータを完全消去するには、LinkStationの完全フォーマット機能（※）を使用するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

※LinkStationの設定画面にて［ディスク管理］-［ディスク消去］-［ディスク消去を開始］を行うことで、LinkStationの全データ領域に「0」を上書きする機能です。

GPL/LGPLライセンスについて

本製品は、GPL/LGPLの適用ソフトウェアを使用しており、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により弊社による保証がなされています。

GPL/LGPLのライセンスについては、添付CD-ROM内 GNU_LICENSE.PDF をご覧下さい。

変更済みGPL対象モジュール、および再配布については、http://opensource.buffalo.jp/をご覧ください。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
- 本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
- 本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

⚠ 注意

強制 パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止 次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ →故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ →故障や感電の原因となります。

強制 本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（MOディスク、CD-R／RW、DVD等）にバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止 本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止 シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止 本製品へのアクセス中は、本製品から電源ケーブルを抜いたり、電源スイッチをOFFにしないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

はじめにお読みください
2008年4月14日　第2版発行
発行　　株式会社バッファロー